

和の光

宝塚市立西谷中学校



不可能を可能にするために
～「自分の殻」を破ろう～

校長 筒井 啓介

西谷中生の皆さんには、私から「自分の殻を破ろう」という課題を出しています。

今までは人前に立つことが苦手だった人が行事や生徒会活動・係活動などで自分の力を前向きに発揮したり、自分の意見を言うことが苦手だった人が級友や先生に言えるようになったりと、**「自分の殻」を破って成長する姿をたくさん目にするようになり、とても嬉しく思っています。**

少し、話が変わりますが、皆さんに紹介したいことがあります。皆さんは登山家の栗城史多さんを知っていますか？

栗城史多さんは、1982年に北海道で生まれ、大学時代に山岳部に入り、6大陸の最高峰に登り、8000m峰4座を無酸素・単独登頂しました。（2018年、8回目のエベレスト挑戦で下山中に滑落して帰らぬ人となる。享年35歳）

彼の著書に次のような一節があります。

「できるか、できないかではなく、やりたいか、やりたくないか。

不可能は自分が作った錯覚にすぎない。

想像の世界を飛び回ろう。想像が現実を作り出す。」

栗城史多（登山家）

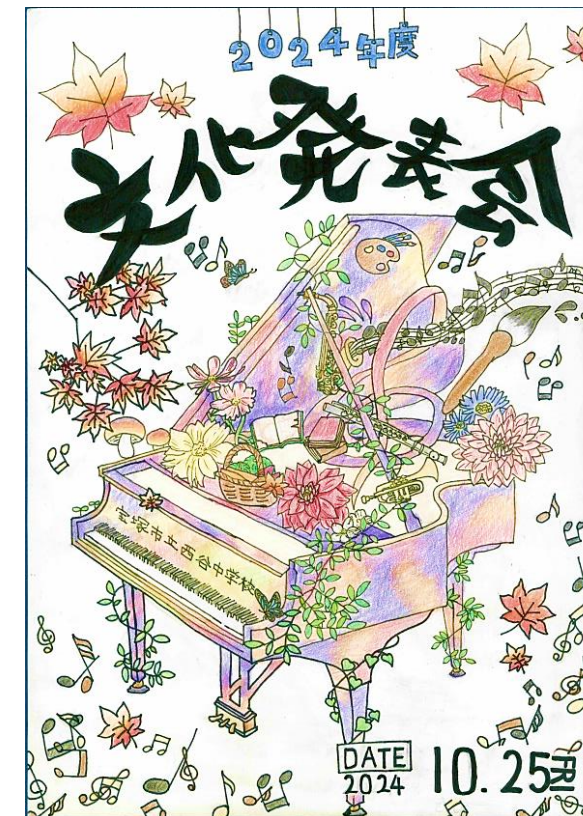
「NO LIMIT自分を超える方法」

皆さんは、この一節を読んで何を感じたでしょうか。

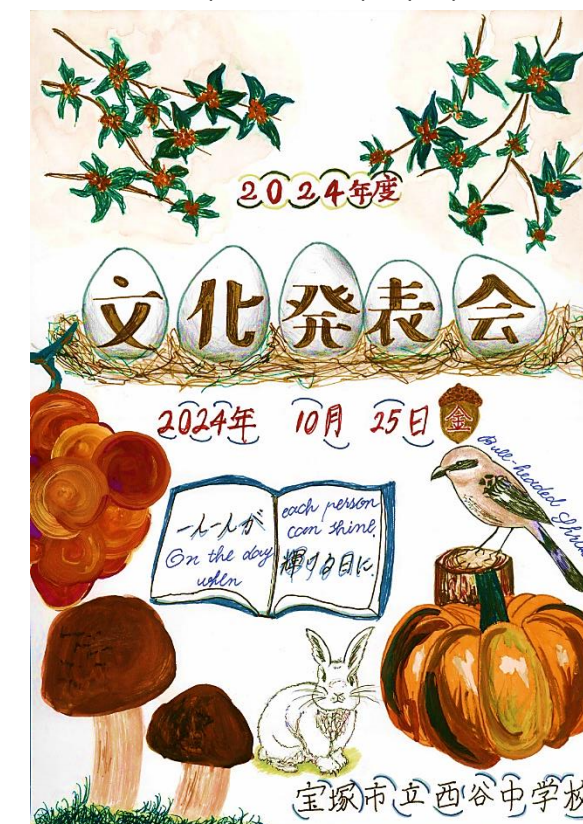
学校生活や勉強、進路選択などで、大きな壁に直面することがあると思います。そんな時に、

「私にはできない」ではなく、その壁を乗り越えた時のことを想像し、どうすればその壁を乗り越えられるのかを考えて、まずは「自分の殻」を破って小さな一歩を踏み出すことが大切だと思います。西谷中生の更なる飛躍を期待しています。

■文化発表会冊子の表紙デザインが決まりました



1位：Aさん（3年生）



2位：Cさん（3年生）



2位：Bさん（3年生）

文化発表会冊子の表紙デザインに3年生の生徒が取り組み、先日全校生で選考を行いました。その結果1位にAさん、2位にBさん、Cさんが選ばれました。どのデザインも西谷中の文化発表会の様子が伝わる素敵なデザインです。

応募いただいた生徒の皆さん、選考に協力いただいた生徒の皆さん、有難うございました。

■オンライン交流による進路学習（３年生）



交流グループA



交流グループB



交流グループC



県立伊丹西高等学校の生徒会の皆さんと西谷中の３年生がオンライン交流を行いました。このオンライン交流は、進路学習の一貫として行うもので、今回は３つのグループに分かれて中学生と高校生が自己紹介を行ったり、お互いに質問をしたりしました。初対面で少し緊張した様子も見られましたが、次第にうちとけ笑顔で交流が進んで行きました。今後も、オンライン交流を通して「進路に対する不安の解消」「オンライン面接」など取り組みを進めていきます。（１０月７日）

【西谷中生からの質問】

- ★受験生の時に１日に何時間くらい勉強しましたか。
- ★高校生活で楽しいことは何ですか。
- ★部活と勉強の両立は難しいですか。
- ★中３の今の時期には１日にどのくらい勉強していましたか。
- ★勉強するのが嫌になった時、どのようなことをしていますか。
- ★勉強のモチベーションがなくなったら何をしていますか。
- ★高校生になって驚いたことは何ですか。
- ★友達って何ですか。
- ★その日の授業の復習はどうやってしていますか。
- ★受験生として、スマホが近くにあって触ってしまうのですが、どうしたらいいですか。
- ★高校に入って、友達ってどうやって見つけましたか。
- ★モチベーションが下がった時の解決方法を教えてください。
- ★受験前、平日と休日ではそれぞれ何時間勉強しましたか。学校行事で一番楽しいことは何ですか。

■書道パフォーマンスの取り組み（１・２年生）

１・２年生の書道パフォーマンスの練習が体育館で行われました。各学年が今までに積み上げてきた練習の成果を足立さんに見ていただき、工夫・改善点などのアドバイスをいただきました。文化発表会で最高のパフォーマンスが披露できるよう最後まで頑張っていきましょう。（１０月１１日）



２年生の様子



１年生の様子